

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目6番13号 (電話) 099-210-8230
自己評価作成日	令和3年2月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

いこいの広場の理念・「ゆっくりと楽しく過ごして頂く」・「明るい環境の中での笑顔に共感」・「家族や地域交流を大切にする」を大切にしながら、入居者の皆様と共に毎日を生活しています。一緒に洗濯物を畳んだり掃除をしたり、のんびりと一緒にお茶を飲んだり、理念にもあるように「ゆっくりと楽しく過ごす」事を頭に入れながら日々支援しています。明るく開放的なリビングと、目の前に広がる雄大な桜島を毎日見ながら生活し、近所にスーパーや農協、慈眼寺公園、考古歴史館など様々な施設があり、ドライブや季節の行事などを皆様と一緒に楽しんでいます。ご利用者様、ご家族様、職員が常に笑顔で共感出来るように支援していきたく思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は2階が住宅型有料老人ホームとなっており、災害時の協力関係が整っている。また、近隣住民の協力も得られている。
- ・協力医療機関からの月2回の往診が有り、入居者の状態変化時等により、主治医の指示のもと、訪問看護師との連携で適切な医療が受けられるよう支援している。
- ・職員は理念に基づき「ゆっくりと楽しく過ごす」とあるように、利用者の気持ちを一番に考えケアに関わっている。
- ・コロナ感染防止の為、面会を家族の希望で玄関や居室の窓越し面会を行い、毎月の便りを届けて、関係継続の支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念「ゆっくりと楽しく過ごしていただく」「明るい環境の中での笑顔に共感」「家族や地域交流を大切にする」を念頭にスタッフ全員が取り組んでいる	理念は事業所内に掲示し重要事項説明書・パンフレット・毎月発行の便りに掲載している。職員は理念の実践に取り組み、毎月2回の職員会議で理念を共有し、振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、近隣の方が野菜など差し入れに来て頂いたり、町内会の会合や話し合いに出席している	町内会に加入し、管理者が会合や話し合いに参加している。地域行事はコロナ感染防止の為、自粛しているが、野菜の差し入れや日々の散歩で挨拶や交流をしている。事業所もボランティアなどの受け入れの自粛をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の場などで、認知症の方々に対して、ご理解いただけるように話をしたりと、取り組んでいる		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の場でいこいの広場の取り組みを報告したり、参加者の方々からご意見を頂きながら、サービスの向上に取り組んでいる	2ヶ月毎の会議は民生委員や職員で開催している。欠席者には文書で報告し、意見を聞いている。入居者や行事の取り組み状況を報告したり、感染症対策等を報告し、出された意見は運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議では、長寿安心センター（地域包括センター）の職員に参加頂いたり、協力関係を築いている</p>	<p>市担当者とは書類提出時に窓口に出かけたり、電話での問い合わせや相談をする等、日頃から協力関係にある。生活保護課の担当職員とは情報共有し連携・協力関係を築いている。市主催の研修会に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>スタッフ全員が、身体拘束の具体的な行為に、どの様なことが起こるか理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを基に身体拘束廃止委員会で、資料や事例を用いて意見交換し勉強会を実施している。カウンターに、禁句の言葉を掲示し、声かけについて徹している。外出したい動作がある場合、一緒に散歩するなど、利用者に応じた支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加したり、学習会を行ったり、職員一人ひとりが理解し、虐待防止に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。</p>	職員が制度を理解できるように学習・話し合いを持ち、いつでも活用できるようにしている		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	利用者本人やご家族に充分なご理解を頂いている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	運営推進会議などを通して入居者様や、ご家族様が意見や要望をを表せる機会がある	利用者と話した内容や支援の変更があった場合は家族へ報告している。家族から面会の問い合わせがあり、コロナ感染防止の為、玄関や居室での窓越し面会、電話やオンライン等で対応し、意見箱を玄関に設置している。毎月、便りを発行し電話で意見や要望を聞いている。要望で飲み薬を漢方薬へ変更し、落ち着いた事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	職員会議などで、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、反映させている	管理者は申し送りやミーティング・毎月の職員会議・日々の暮らしの中で、その都度意見や提案を聞いている。入浴支援を午後の時間帯から午前や午後に利用者の希望に合わせてたり、備品購入等、意見を反映させている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	個々の能力など把握し、働き甲斐のある職場づくりや環境を整えている。また、職員と管理者が気軽に話しが出来る環境を整えている		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	一人一人の力量に応じながら、研修を受けられる様に取組んでいる		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	交流も兼ねて、合同の研修会を開催し取組んだり、外部の研修に参加し意見交換など行い取組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居された時は特に不安や心配なことがあるので、安心されるような声掛けに努め、信頼関係が構築できる様に取り組んでいる		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の不安や心配な事を十分傾聴し、信頼関係が早く構築できる様に取り組んでいる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当に必要なサービスは何かを、本人やご家族に伺いながら、対応し取り組んでいる		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常日頃から、一緒に暮らしを共にする者として、支えあったりと毎日を過ごし信頼関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と一緒に、ともに本人様を支えあう関係を築けるように、よく話をし取り組んでいる		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様が大切にしてきた関係が途切れることが無い様に、定期的に連絡をしたり努めている	居室や玄関での窓越し面会、本人の希望により友人へ電話をかけたり友人からの電話の取次ぎや孫からのオンラインなどの支援をしている。行きつけの美容室に家族の対応で行く等、馴染みの人や場所との関係が途切れない支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を把握し、孤立しないように、職員が間に入り支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも相談に応じたり、こちらから定期的に連絡をしたりと、退所後の支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者一人一人の思いや希望を把握し支援に努めている。訴えの困難な入居者様には、本人の立場に立ち支援をしている	食事や入浴・夜勤時などに、思いや意向を聞いている。意思表示が困難な場合は、職員から話しかけを積極的に行い、表情や行動により思いを感じ取っている。家族と相談し、職員間で話し合い、本人の思いに寄り添いながら支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や生活環境など、入所時に本人様やご家族様に話を十分に伺い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人にの心身状態など、毎日の記録や申し送りまたは職員会議などを通して現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人を交え、関係する方々の話し合いを持ち、意見を交えながら反映することで、現状に即した計画が作成できるように取り組んでいる	本人や家族と話し合い、主治医の意見を参考に、担当者会議で方向性を決定し、介護計画を作成している。3ヶ月毎のモニタリング、6ヶ月毎に見直している。状況変化時は現状に即した見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	それぞれ個人記録があるので、それを活用している。申し送りなど行い、情報の共有化に取り組んでいる。介護計画の見直しにも活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様一人ひとりのその時の状況に応じて臨機応変に対応出来るように取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加や見学をしたりと支援している。また、消防訓練などに参加して頂いている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人とご家族に納得して頂いている。かかりつけ医との信頼関係は築かれている。いつでも受診が出来るように支援している	本人と家族の希望で協力医療機関が主治医となっている。月2回の往診がある。訪問看護師との連携もしている。必要時歯科の往診もあり、口腔ケアの指導もしている。他科受診は、家族でしている。急変時、救急搬送し、家族と一緒に説明を聞く等、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気付いたことをすぐに連絡・相談できる様に取り組んでいる。また、本人が適切に受診が出来る様に取り組んでいる</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された際には、ご家族・病院関係者との情報交換を行い、早期退院が出来る様に取り組んでいる</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人様、ご家族様、かかりつけ医と話を十分に行い、事業所として出来ることと納得して頂いた上でチームとして支援している</p>	<p>重度化や終末期の対応に係るマニュアルがあり、入居契約時に、説明し同意書を貰っている。状態変化時、家族や主治医と十分に話し合い、方針を確認している。重度化した場合は、家族に感染症対策をした上で、居室に椅子を準備し、一緒に支援している。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的の訓練を行い、急変時や事故に対し適切な対応が出来る様に備えている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署員立ち合いのもと定期的に避難訓練を行っている。地域との協力体制を整えている</p>	<p>避難訓練は年2回実施。昨年は消防署からの指導のもと年1回夜間時を想定して実施。地震についてのマニュアルもあり、緊急通報装置を設置し、定期的に点検を行っている。訓練時、事業所の両隣りの地域住民に声かけを行い、協力体制を整えている。災害時の備蓄は乾パン・カレーライス・シチュー・米・水・パスタ・缶詰・レトルト食品等を揃え、発電機・七輪・練炭もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の自尊心を傷つけないように、声掛けや対応に気を付けている。職員間でも言葉かけなど気を付けている	マニュアルがあり、年1回権利擁護や虐待について勉強会を実施し、職員の資質向上に努めている。入浴介助やトイレ誘導時の声かけは、誇りやプライバシーを損ねない対応を心がけている。入居者の呼称は苗字で呼んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が、思いや希望を自己決定出来る様な声掛けを行い、取り組み、その意思是尊重している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく希望に沿って過ぎて頂けるように、一人ひとりのペースに合わせながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみやおしゃれが出来る様に、化粧水や乳液など準備し、ご自分ですることが困難な方は、職員と一緒に支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の中で入居者のお手伝いを頂き、食事の話題が増え食事の際には楽しそうにされている	その日の勤務者が入居者の好みを取り入れた献立を考え、咀嚼機能に応じて食形態や代用食を提供している。職員と一緒に配膳や下膳・お盆拭き・片付けをしている。行事食のひな祭りはちらし寿司と蛤吸い物・煮物等を提供し、月毎の誕生会にはケーキで祝う等、食べる事を楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスなど、かかりつけの病院の栄養士にチェックして頂いている。また、一人ひとりに応じた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後・就寝前など、口腔ケアを行っている。また、職員が一部介助を行い清潔保持を保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合わせ、なるべくトイレで排泄して頂けるように支援している。また、失敗しても自尊心を傷つけないようにスタッフ全員で取り組んでいる	排泄チェック表で個々人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導し排泄支援をしている。車いすで入所した利用者がリハビリを繰り返すことで立位の時間が長くなって歩行が可能になり、日中はトイレ誘導や声掛けを実施し排泄行動ができるようになった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、健康体操を行い身体を動かしたり、食物繊維が多い食事提供し取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望に合わせながら、ゆったりと入浴が出来る様に支援している。入浴日などは特に決めずに行っている	基本的に週3回、午前・午後の入浴支援で、希望に応じて対応している。ゆず湯・しょうぶ湯や入浴剤で香りを楽しめる支援をしている。拒否がある場合は時間をずらしたり、声かけの工夫で、入浴までの時間を要すが、入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午後のお昼寝の時間など声をかけて休んで頂いたり、就寝前には静かな環境を作り、ゆっくりと眠れるように取り組んでいる		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人ひとりどのような薬を服用しているのか把握しやすいようにファイルを作成し、すぐ確認できるように取り組んでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人様の得意なこと、出来ることを把握し、一人ひとり役割を持って頂き支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望に沿って戸外に行ける様に支援している。また、遠方のご家族の協力を得ながら、入居者様の希望を尊重し支援に取り組んでいる	施設周辺の散歩を、少人数で行っている。天気の良い日は玄関前で外気浴を楽しんでいる。年間計画に沿って外出支援していたが、コロナ感染防止の為、現況は集団での外出はしていない。個別に家族と一緒に行きつけの理美容院まで出かける場合もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理が出来る入居者様には少額ではあるが管理して頂いている。買い物際にはそのお金を支払いに使っていただき支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	いつでも連絡が出来る様に、電話の子機を広間に備えている。ご自分でボタンを押すことが難しい方には、職員が代理で掛け取り次いでいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に居心地よく過ごして頂けるように、明かりや湿度、温度に気を付けている。また、近所の方々が野菜を差し入れてくれるのでそれを利用して季節を感じて頂いている	共用空間は空気清浄機を設置し自動的に換気・温度・湿度の調整を図っている。採光にも配慮し、過ごしやすい環境を心がけている。テレビやソファを置き、壁には長寿の歌、入居者の習字の作品、季節行事のちぎり絵や飾り物を掲示し、生活感や季節感を採り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間では、入居者様が自由に過ごして頂けるようにソファやテーブルを設置している。皆様が自由に行き来できる様に支援している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはなるべく、本人様が使用していたものを入所される時点で持ってきて頂き、居心地良く過ごして頂けるように配慮している</p>	<p>居室は電動ベット・タンス・エアコン等を設置している。乾燥傾向の利用者に加湿器を準備し、状態に応じて、ラジオカセットで家族の声のテープを聞くことがある。寝具類・仏壇・タンス・スタンドハンガー・家族写真等を持ち込み、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下の手すりや、トイレ・浴室の案内表示などなるべく、ご自分で行ける様に工夫している。入居者様の状況を見ながら付き添い、事理湯出来る様に取り組んでいる</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない